



おたふくかぜ予防接種 費用助成



府中町では、おたふくかぜの発症及び重症化を予防するため
おたふくかぜワクチンの接種費用を一部助成しています。

1. 対象者 次の①と②にあてはまるお子さん

- ① 接種日時点で府中町に住民登録があるお子さん
- ② 1歳から小学校入学前年度（年長児相当）までのお子さん

※ 助成対象となるのは、小学校入学前の3月31日接種分までです。

2. 助成額 1回あたり上限 4,000 円

3. 助成回数 1人あたり2回

4. 医療機関に持参するもの

- ① 母子健康手帳
- ② 健康保険証、マイナ保険証など、接種する人の氏名、住所、年齢が分かるもの。
- ③ おたふくかぜ予防接種予診票

※ 予診票は、**町内のおたふくかぜ予防接種実施医療機関**（裏面の一覧をご覧ください。）又は、健康推進課窓口でお渡しできます。健康推進課窓口にお越しの場合は、母子健康手帳をお持ちください。

5. 費用助成の受け方

町内 医療機関	「各医療機関が定める予防接種の費用の額」から助成金額（上限 4,000 円）を差し引いた金額を医療機関に支払ってください。
町外 医療機関	「各医療機関が定める予防接種の費用の額」を一旦、 全額お支払い ください。 その後、健康推進課で、助成金額（上限 4,000 円）の払い戻し手続き（★）を行ってください。
	★払い戻し手続きに必要なもの (ア) 任意予防接種費用助成償還払い申請書（健康推進課窓口または町ホームページにあります。） (イ) 予防接種予診票（ <u>接種後、医療機関から原本を返却してもらってください。</u> ） (ウ) 領収書、明細書 (エ) 申請者の口座番号がわかるもの (オ) 運転免許証やマイナンバーカードなど、申請者の写真付きの本人確認書類

お問い合わせ

府中町健康推進課 TEL 082-286-3255 （平日 8：30～17：15）
〒735-0023 府中町浜田本町 5 番 2 5 号（福寿館）

6. おたふくかぜ予防接種の町内実施医療機関

【令和7年4月時点】

医療機関名	住所	電話番号
こさか内科	青崎東 20-2	281-4482
さかの小児科	鹿籠二丁目 13-2-1F	890-1062
すくすくキッズクリニック	大通二丁目 8-21-4F	286-8686
細田小児科医院	浜田一丁目 1-28	284-1020
前野医院 ※要予約	石井城二丁目 10-20	281-2334
マツダ病院 小児科 ※3日前までの予約必要、キャンセル不可、日程変更可。	青崎南 2-15	565-5026
向洋こどもクリニック	青崎中 24-26-4F	287-3266

7. おたふくかぜについて

感染経路	おたふくかぜは、ムンプスウイルスの感染症で、主に唾液を介して人から人に感染します。耳の下、頬の後ろ、あごの下がはれる6日前から、はれてから9日後頃まで唾液の中にウイルスが出ているため、この間は、唾液が感染する原因になります。
症 状	主な症状は、発熱と唾液腺（特に耳下腺）の腫れ・痛みです。感染した人の約3割は感染しても明らかな症状がでません。唾液腺のはれは、症状が出始めて1～3日がピークで、1週間ほどで良くなります。 おたふくかぜは、軽い病気と思われがちですが、実際には様々な合併症を伴うことがあります。髄膜炎や脳炎・脳症などの神経の合併症のほか、難聴や精巣炎・卵巣炎・膵炎などの合併症があります。 国内では、毎年子どもを中心に数十万～百万人がかかり、5千人程度が入院していると報告されています。

8. ワクチンの効果

おたふくかぜワクチンの公費接種を1回実施している国ではおたふくかぜの発症者数は88%減少し、2回実施している国では99%減少しています。

自然感染での発病は3～6歳が多いことを考慮すると、少なくとも3歳より前に接種することが勧められています。

日本小児科学会は、1回目を1歳になったら早めに、2回目を小学校入学前の1年間に接種することを推奨しています。

9. ワクチンの副反応（起こるかもしれない体の変化）

接種後10～14日後に微熱が出たり、耳の下、頬の後ろ、あごの下などがはれる場合がありますが、自然に治ります。接種後3週間前後に、おたふくかぜワクチンが原因の無菌性髄膜炎が、4万接種あたり1人程度の割合で発生するとされています。ただし、おたふくかぜにかかった場合と比較してその頻度は低く、程度も軽いです。

その他、極めてまれに、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、難聴、精巣炎などが報告されています。

10. 健康被害救済制度

この事業は任意予防接種です。万が一予防接種による健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済制度の対象となります。